

令和7年度 岩手県立千厩高等学校 卒業式 校長式辞

20260301 熊谷 道仁

なかなか青空を見せなかった岩手の冬空が、時に爽やかな青色に染められ、日中は温かな日が訪れるようになりました。風が運ぶ春の装いに、梅や桜の木も、鹿や熊も、「もうすぐ春が来る」と待ちわびているかもしれません。

春めいてきた今日の佳き日に、畠山同窓会長、加藤PTA会長をはじめ、たくさんのご来賓の御列席を賜り、温もりあふれる岩手県立千厩高等学校卒業式を挙行できますことは、この上ない喜びであり、心より厚く御礼申し上げます。

日頃から、たくさんのお支援助と御協力をいただき、おかげさまで、千厩高校は、順調に躍進しております。

卒業生のご家族のみなさま、本日は誠におめでとうございます。生まれた時は大きな声で泣きましたか。おとなしい子でしたか。きかん坊でしたか。それとも、泣き虫でしたか。ランドセルは何色だったでしょう。

小学校に通う姿に、ご家族の皆さんは、今日もがんばろうと笑顔になったはずです。中学校に入る際には、少し大きめの制服を着せ、記念写真を撮りましたか。写真の子どもは、笑っていましたか。

そして、千厩高校入学式の日。あれから3年が経ちました。

あっという間ですね。我が子の凜とした、晴れ姿を目の当たりにし、思い出が、昨日のことのように目の前に浮かび、胸の鼓動の高まりを実感していることと拝察いたします。

皆さまの深い愛情に支えられ、卒業生は今日の日を迎えることができました。心より敬意を表し、御礼申し上げます。

卒業生のみなさん、千厩高校が大切にしている、①フェアな心と行動 ②ユーモア・笑いを忘れずに ③頑張っている人を応援する 以上3つの柱を心の片隅に置いておくと、きっとピンチやチャンスの際に役立ちます。

大切に、心の中に仕舞っておいてください。

人生は、自分の思い通りにならないことの連続です。進学先が想像と違ったり、人生設計が狂ったり、不本意な転勤を命じられたり、それまでの経験が活かされない職場に配属されたりと、受け入れるのに相当の時間を要するショックを体験することがあります。

涙があふれ、心身に不調をきたす場面だって無くはありません。残念ながら、それが世の中というものです。私も、女子ソフトボールの世界で監督をしていた時期に、まさかの岩手県立博物館学芸部への出向を命じられました。

全国選抜大会に出発する直前の命令でしたから、悔しくて一睡もできませんでした。福岡県・太宰府天満宮から、異動承諾書にサインし、FAXで送信しました。心がざわつき、自然に涙があふれてきて普通ではいられませんでした。

博物館に転勤してから数カ月が経過した頃、何かが舞い降りたのか、このままではダメになると、通勤を電車に切替え、片道2時間20分の移動中ひたすら本を読みました。ひたすら本を読み、博物館で黙々と勉強したことが今どれほど役に立っているか、わかりません。

電車内では、先日1、2年対象の講演会で来校した目の不自由な金濱朋美さんとの出会いもありました。彼女との不思議な縁は、17年の歳月を超えて再会、千高生に紹介できました。

その後も、杜陵高校奥州校定時制、前沢明峰支援学校、杜陵高校本校への勤務を命じられ赴任しました。それまでの経験が活かされない、初めての学校に戸惑い、自信を無くすこともありました。なんでこのような人事異動になるのかと。

しかし、不登校や希死念慮、対人関係に悩む生徒に向き合ったり、知的障がいや肢体不自由な生徒と関わる中で、どの子も必ず誰かを幸せにしていることに気付かされ、悩める生徒からたくさんのお話を教わる幸運に恵まれました。

そして、現在の私があります。どのような生徒でも、心にゆとりを持って対応できるようになりました。様々な種類の学校に勤務したお蔭で、たくさんのお話を、多様な世界で活躍する人たちとの縁に恵まれ今日に至っています。

就職しても進学しても、一見不本意で納得がいかない事実も生じてきますが、人や環境のせいにはしないで、腐らず、文句を言わず、この学校や職場で頑張るんだ、と自分が決めると、物事の捉え方が変わり、エネルギーが満たされ、運命が変わり始める気がします。

無意味なように見えたり、自分とは関係が無いように感じる事柄が、実は深いところでつながっています。無駄と思える経験が意味を帯びてきます。

今後、卒業生の皆さんも、辛い経験や納得できない場面に直面するでしょう。その際は、ぐっところえて、誠実に実直に仕事に取り組んでいると、必ず誰かが見てくれますし、神さまの導きなのか、後で1つひとつが、不思議とつながるときが必ず訪れます。

全く関係性がないと考えていたたくさんの経験が1つにつながり、大きな成果につながります。

大丈夫です。先のことなどどうなるかなんて誰にもわからないのです。どんなに大変でも一生懸命に取り組んでいれば、不思議な縁に助けられ、全てがつながり、奇跡に巡り会えます。

「一見無駄に見えるものが、実は深いところでつながっていて、大きな成果となる」
以上が私から卒業生へのエールであり、はなむけの言葉です。

あなたの未来の輝きは、あきらめずに挑む、信じる心に宿っています。
ここ山仰台を吹き抜ける緑の風は、諸君の未来からビュンビュン吹き抜けてきています。

さあ、千厩高校卒業生諸君、旅立ちのときが近づいてきました。
千厩高校職員全員が応援しています。
安心して、旅立ってください。

卒業生の前途に、幸多からんことを祈念して、式辞とします。

令和八年三月一日

岩手県立千厩高等学校
校長 熊谷道仁